

安全データシート

作成日 2007年 4月11日

改訂日 2022年 5月 9日

1.製品及び会社情報

製品名： OSラスコート

会社名： オバナヤ・セメントックス株式会社
住所： 三重県いなべ市北勢町東村1339
電話番号： 0594-72-6488
FAX番号： 0594-72-6253
担当部門： 製造部 工場管理課
整理番号： M4003

2.危険有害性の要約

GHS分類

急性毒性 経口：	区分に該当しない
急性毒性 経皮：	区分に該当しない
急性毒性 吸入(ガス)：	区分に該当しない
急性毒性 吸入(蒸気)：	区分に該当しない
急性毒性 吸入(粉塵、ミスト)：	区分に該当しない
皮膚腐食性／刺激性：	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	区分2
呼吸器感作性：	区分に該当しない
皮膚感作性：	区分に該当しない
生殖細胞変異原性：	区分に該当しない
発がん性：	分類できない
生殖毒性：	区分に該当しない
特定標的臓器毒性(単回暴露)：	分類できない
特定標的臓器毒性(反復暴露)：	分類できない
誤えん有害性：	分類できない
水生環境有害性 短期(急性)：	分類できない
水生環境有害性 長期(慢性)：	分類できない
オゾン層への有害性：	分類できない

GHSラベル要素



注意喚起語： 警告

危険有害性情報： 強い眼刺激

注意書き： 《安全対策》

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

取扱い後は手、顔等をよく洗い、うがいをする。

《応急措置》

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗浄を続けること。

目の刺激が続く場合は、医師の診断／手当を受けること。

皮膚に付着した場合は多量の水および石鹸で洗い流すこと。水疱、痛みなどの症状がでた場合は、必要に応じて医師の手当てを受けること。

皮膚の刺激が生じた場合、医師の診断／手当を受けること。

汚染された衣類を脱ぐこと。そして再使用する場合には洗濯をすること。

《保管》

容器を密閉して涼しく換気の良い場所で、施錠して保管すること。

《廃棄》

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に委託し、関連法規等を遵守し廃棄すること。

3.組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

成分及び含有量：

成分名	含有量	CASNo.	安衛法	化審法	安衛法第 57 条の 2
塩化ビニリデン共重合体	35～45%	非公開	既存物質扱い	非公開	—
プロピレングリコールモノメチルエーテル	10～20%	107-98-2, 1320-67-8	既存物質扱い	(2)-404, (7)-97	496
有機化合物	1～10%	非公開	非公開	非公開	—
水	35～45%	7732-18-5	—	対象外	—

4.応急措置

- 眼に入った場合： 直ちに清浄な流水で15分以上充分洗浄すること。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、洗浄を続けること。その後、医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合： 汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。石鹼を使ってよく洗い落とす。外観に変化が見られたり、痛みや刺激が続く場合は直ちに医師の手当てを受ける。
- 吸入した場合： 被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、医師の診断を受けること。呼吸が弱い場合は人口呼吸を行なう。
- 飲み込んだ場合： 水でよく口の中を洗浄する。安静にし、直ちに医師の診断を受ける。医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

5.火災時の措置

- 消火剤： 霧状の水、炭酸ガス、粉末消火剤、泡消火剤、乾燥砂
- 特有の消火方法： 適切な保護具(呼吸用保護具、耐熱性着衣など)を着用する。
初期の火災には、粉末、炭酸ガス、乾燥砂等を用いる。
大規模火災の場合は泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。
消火作業は風上から行う。関係者以外は安全な場所に退避させる。
消火のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。
- 火災時の特有の危険有害性： 燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

6.漏出時の措置

- 人体に対する注意事項/
保護具及び緊急時措置： 作業の際には適切な保護具(手袋、保護マスク、長靴、ゴーグル等)を着用する。
多量の場合、人を安全な場所に退避させる。
必要に応じた換気を確保する。
- 環境に対する注意事項： 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。
大量の漏洩物の除去や廃棄処理の場合は専門家の指示による。
- 封じ込め及び浄化の方法
及び機材： 少量の場合、乾燥砂・土・ウエス等に吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る大量の水で洗い流す。
多量の場合、盛り土で囲って流失を防止し、安全な場所に導いてからドラム等に回収する。
- 二次災害の防止策： 周囲を関係者以外立ち入り禁止にして、二次災害を防止する。
床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い上の注意： 取扱いは、換気の良い場所で行う。
皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないように保護具を着用する。
出来るだけ風上から作業を行う。
容器を開ける前に内圧を除き、漏れ、あふれ、飛散がないように注意深く取扱う。
取扱い後は、手、顔等をよく洗いうがいをする。
- 保管上の注意： 直射日光を避け、通風の良い、乾燥した屋内冷暗所に密閉し保管する。
酸化剤との接触を避ける。
温度が5℃～35℃以外になる所には置かないこと。
- 安全な容器包装材料： ポリエチレン内袋入り容器(缶、ドラムなど)

8. 暴露防止措置

管理濃度及び許容濃度： ACGIH(米国)

化学名又は一般名	TWA(時間加重平均)	STEL(短時間暴露限界)	STEL_C(天井値)
プロピレングリコールモノメチルエーテル	100ppm	150ppm	—

- 設備対策： 出来るだけ密閉された装置・機器を使用する。
取扱い場所は換気を良くする。
取扱い場所の近くに洗眼、水洗設備を設置することが望ましい。

保護具

- 呼吸器の保護具： 防毒マスク(有機ガス用)を着用する。
- 手の保護具： 有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
- 眼の保護具： 保護眼鏡を使用する。ガラス又は樹脂製のゴーグルタイプが良い。
- 皮膚及び身体の保護具： 保護衣(長袖の静電気防止作業服)を着用する。
有機溶剤又は化学薬品が浸透しない材質の手袋を着用する。
- その他の保護具： 保護靴、保護前掛け

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態： 液体
- 色： 乳白色
- 臭い： 僅かなエーテル臭
- 融点／凝固点： データなし
- 沸点又は初留点及び
沸騰範囲： データなし
- 可燃性： データなし
- 爆発限界及び爆発上限界／
可燃限界： データなし
- 引火点： 測定されない
- 自然発火点： データなし
- 分解温度： データなし
- pH： 1.5～4
- 溶解度： 水、アルコール等の有機溶剤に溶ける。
- n-オクタノール／
水分分配係数(log 値)： データなし
- 蒸気圧： データなし
- 密度及び／又は相対密度： 1.25 g/cm³

10. 安定性及び反応性

- 安定性： 通常の保管・取扱い条件で安定。
- 反応性： 自己反応性なし
- 避けるべき条件： 継続的な高温状態(50℃以上)、低温(5℃以下)での長期保管
- 危険有害な分解生成物： データなし

11. 有害性情報

急性毒性：	データなし
皮膚腐食性／刺激性：	データなし
眼に対する重篤な 損傷性／刺激性：	プロピレングリコール 区分2B モノメチルエーテル
呼吸器感作性：	データなし
皮膚感作性：	データなし
生殖細胞変異原性：	データなし
発がん性：	データなし
生殖毒性：	データなし
特定標的臓器毒性 (単回暴露)：	データなし
特定標的臓器毒性 (反復暴露)：	データなし
誤えん有害性：	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性：	データなし
残留性・分解性：	データなし
生体蓄積性：	データなし
土壤中の移動性：	データなし
他の有害影響：	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約し、関連法規等を遵守し廃棄する。 焼却する場合、関連法規・法令を遵守する。
汚染容器：	内容物を完全に除去した後に都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約し、関連法規等を遵守し廃棄する。

14. 輸送上の注意

輸送の特定の安全対策 及び条件：	取扱い及び保管上の注意の項の記載に従うこと。 積み重ねは3m以下とし、容器の破損、漏れのないことを確かめ、転倒、落下等がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にこなう。
国内規制	
陸上輸送：	消防法、毒劇物取締法、高圧ガス保安法、道路法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送：	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送：	航空法に定められている運送方法に従う。
国際規制	
国連番号：	分類基準に該当しない。
海洋汚染物質：	該当しない

15. 適用法令

消防法：	非危険物
労働安全衛生法：	エポキシ樹脂の硬化剤による健康障害防止のための基準：該当しない
海洋汚染物質：	未査定物質
外国為替及び 外国貿易管理法：	輸出貿易管理令 キャチオール規制：該当する。

16.その他情報

本データシートは作成時又は改訂時において、製品及びその組成に関する最新の情報(危険有害性情報・取扱い情報)を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行ない改訂いたします。

また、本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものとの混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行なってください。
